

# 一般質問・代表質疑

## (決算審査特別委員会)

一般質問は議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政の機能や疑問点についてチェックするためにおこないます。一般質問は5～9ページに、代表質疑は10～13ページに要約を掲載しています。

質問議員の名前の横にあるQRコードをタブレットやスマートフォンで読み取るとそれぞれの議員の全質問動画にアクセスできます。ご覧ください。

議会中継アクセス  
QRコード



### 認知症基本法の施策推進計画の策定について



公明党議員団  
生本 富士代  
議員

**問** 本年6月に「認知症基本法」が成立しました。認知症の人と、家族を含む介護者への支援強化を目指していくために、本市としてどのような施策推進計画を策定し、事業の推進を図っていくの所見を伺います。

**答** 国や道の策定方針やその内容についての情報収集を行うとともに、それらを踏まえた上で、認知症への社会の理解を深め、認知症の方が尊厳と希望をもって暮らせるよう事業の推進につながる計画策定を検討して参りたいと考えています。

**問** 実効性のあるものにするためには、推進計画の策定においては、ぜひとも当事者ら、家族を含めた方々の意見も反映されるように取り組んでいただきたいと思いますが所見を伺います。

**答** 社会福祉審議会の障害者福祉専門部会や介護保険高齢

者の部会でありますとか、そういうところでもお話を伺いながら、よりその当事者の意見も踏まえた中で、策定を進めて参りたいと考えています。



認知症サポーターオレンジバンド  
(イメージイラスト)

**問** 移動支援に関しては、これからますます需要があり、市の福祉政策を考えていく上でも、今後、大きな課題ではないかと思えます。担い手を増やすための対策などについては、どのようにお考えなのか伺います。

**答** 今後の推移も含めまして、そういった担い手の確保ということも、力を入れて参りたいと考えています。

### ◆その他の質問項目

・一人暮らしの高齢者や障がい者の社会的な支援について、図書館本館改修計画について、学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進について

### 教育行政について



公明党議員団  
野沢 宏紀  
議員

**問** 教育における経済的な負担軽減の一助となる、奨学金制度の創設が必要と考えますが、所見を伺います。

**答** 奨学金制度の創設については、基金等財源の問題もありますことから、近隣自治体の動向を調査するとともに、奨学金や現行制度の「高等学校等入学準備金」の在り方を含め検討して参りたいと考えています。

**問** 学校における暑さ対策（エアコン等の設置）について、現状と今後の取り組みについて伺います。

**答** 今年の記録的な猛暑の中、学校へのエアコン設置は望ましいことと考えますが、全教室への設置は多額の経費を要することから、現状では困難な状況です。

このため、次年度に向けて、夏休み期間を延長するとともに、学校保健の観点から、市内全ての小中学校の保健室等に、来年の夏までを目

途にエアコンを設置するよう検討を進めています。

**問** 今後、各学校の保健室には設置されていくのだろうと思いますが、先程の答弁で保健室等とありましたが、その他にもプラスという意味でしょうか。その意味合いについて伺います。



市内小学校の校舎等

**答** 子どもたちの健康管理の観点から、全校の保健室への設置は必須と考えていますが、その他、児童生徒が、例えば体育の授業終わりのクールダウンをする部屋とか、涼を取る部屋など各学校が希望する任意の一室を考えています。現在各校に任意の調査を行っているところです。

### ◆その他の質問項目

・総合防災訓練について、防災ラジオについて、介護予防について、高齢者健康推進事業助成券増額について



市民と歩む会  
新岡 知 恵  
議員

### 医療的ケア児支援について

**問** 医療的ケア児の日常の教育活動においては、巡回看護師派遣による支援があります。校外学習には看護師の派遣はなく、保護者が付き添わなければいけません。校外学習における看護師派遣に関わる課題について伺います。

**答** 保護者が同行できない場合について、支援する制度が整っていないことが課題と考えています。

**問** 医療的ケア児支援法では、保護者の付添いがなくても教育を受けられる環境を整備するよう定めています。看護師派遣制度を整備する場合の課題について伺います。

**答** 看護師の確保が課題になると考えております。また、児童生徒の状況なども様々で支援の内容も異なることから、一律の単価設定等も難しいと考えておりまして、医師を含め担任や保護者、看護師等と事前に協議が必要になる

と考えております。



医療的ケア児  
(イメージイラスト)

**問** ニーズの有無に関わらず、整備されなければいけない制度。身体的、経済的負担を保護者に負わせないよう、医療的ケア児やその家族を社会全体で支援できる制度づくりに1日も早く取り組んでいただきたい。

**答** 医療的ケア児につきましては、安定した支援のもと、校外学習を含めて、学校生活を安心して送ることができるよう、今後支援法に沿って、課題を整理して、看護師の派遣が可能となるよう、協議を行い、学校における医療的ケアの充実にも努めて参りたいと考えております。

**◆その他の質問項目**  
障がい者の災害時避難支援について



市民と歩む会  
柏野 大 介  
議員

### 多様性を認め合う社会の実現に向けて

**問** 個人が尊重され多様性を認め合う社会の実現に向け、本市においても、パートナーシップ制度を早急に創設すべきだと思えますが、考えを伺います。

**答** 現在、さつぽろ連携中枢都市圏の圏域市町村における自治体間連携について協議を始めたところで、その経過を見ながら判断して参りたいと考えています。

**問** 市内の小中学校における児童生徒への具体的な支援の現状と、教員研修の実態について伺います。

**答** 服装では、自認する性別の制服や衣服の着用、髪型では標準より長い髪型を一定の範囲で認め、トイレについては、職員トイレや多目的トイレの使用を認めること、水泳授業では上半身が隠れる水着の着用や補習として別日に実施又はレポート提出で代替し、修学旅行等では一人部屋

の使用を認める、入浴時間をずらすなど、一定の対応を行っています。

教職員研修については、北海道主催の講座への受講を促し、今後も性的マイノリティに配慮が必要な児童生徒に適切に対応できるよう、生徒指導指要が示す性的マイノリティに関する理解や学校での対応について、あらためて周知・啓発して参りたいと考えています。



レインボープライド2023

**問** 学校での男女の区分けをしない名簿等、市内においてはどのように使われているのか伺います。

**答** 小学校においては、全ての学校が混合名簿となっておりますが、中学校につきましても、現在2校のみが実施しています。

### ◆その他の質問項目

障がい者虐待の通報について、これまでの虐待通報と指導について、虐待事案の調査と対応について、調査委員会の目的と調査について、市民に対する説明責任について



民主・春風の会  
澁谷 敏 明  
議員

### 市役所本庁舎の高温について

**問** 本年はとも暑い日が多く、恵庭市にも熱中症警戒アラートが発令されました。様々な場面で拠点となる市役所本庁舎には、冷房設備が設置されていません。本庁舎の室温管理について伺います。

**答** 本庁舎では、定期的に室温を確認し、夏は28度、冬は20度を目安に庁舎内が適正な室温を保つように管理していますが、夏場は冷房設備が無いいため、特にこの夏のように暑い日が続くと適正な室温を保つことが困難となっております。

**問** 仮に、庁舎内で市民の方や職員が体調不良となった場合に、この暑さから逃れて体を休めることができる場所はあるのか伺います。

**答** エアコンを設置している「えにわっこ応援センター」や比較的涼しい地下の職員休養室などを案内することができ

ます。



夏の高温化  
(イメージイラスト)

**問** 庁舎には、子どもや妊婦の方、高齢者など様々な方が来庁されます。このような方は熱中症のリスクが非常に高くなっています。

**答** こういった皆さんが安心して来庁できるようにすることは、非常に重要であると考えています。冷房設備の設置が必要だと考えますが、所見を伺います。

**答** 熱中症対策としては、冷房設備の設置が非常に有効ですが、市役所本庁舎は施設の規模が大きく、冷房設備を設置するには多額の費用が必要となります。

また、建物も老朽化しておりまして、今後維持管理や修繕費の負担が多く見込まれることから、建物全体の長寿命化も含めて、合理的な方法について一体的に検討して参ります。

### ◆その他の質問項目

2023年人事院勧告について、質の高い行政運営を目的とした人員確保策について





恵庭駅前エリアの賑わい創出について

問 本市は人口が微増ながらも増加しており、これからのまちづくりには大きな可能性と期待が寄せられています。恵庭駅前エリアの賑わい創出の今後の展望について伺います。

答 引き続きコンパクトなまちづくりを進め、都市機能強化、充実を図ります。

問 旧市民活動センターの活用ですが、この場所は、恵庭の顔に相応しい賑わいの創出に対し、非常にポテンシャルが高い場所です。旧市民活動センターの活用の取組状況を伺います。

答 令和6年3月までを試行期間とし、恵庭駅通商店街振興組合に施設の一部を貸し付けています。これを受け、組合では恵庭駅通まちづくり推進協議会や地域と連携し、イベントを実施しています。

今後組合では、実施事業の実績や検証結果等を踏まえ、事業計画を策定することから、その計画や施設の老朽化の現状等に基づき、令和6年度以降の施設の活用や事業について協議を進めて参ります。



賑わいが求められる恵庭駅前

問 駅前の賑わいづくりは、まちづくり構想として起爆のあるものをつくっていく必要があると思います。次世代の駅前のまちづくりを大きな賑わいに繋げていただきたいと思いますが、所見を伺います。

答 西口周辺は、空いた土地もあり、民間から話があれれば、事業者の説明し新たな事業展開になればと思います。現在、そういった話はありませんが、心構えとして、考えているところです。非常に可能性がある場所であり、マスタープランに沿って総合戦略等にも位置づけし、まちづくりを進めて参ります。

◆その他の質問項目  
・恵庭市公式ポータルアプリ『えにわか』ポイント事業について、幼児教育・保育環境の整備について



市民の移動手段の利便性について

問 公共交通としてのタクシーが以前にも増して少なくなっていると感じております。市内タクシー業者の現状について伺います。

答 現在3事業者が営業しており、各事業者の運行台数や乗務員数、勤務体制などは異なりますが、各事業者合計の運行台数は、小型車両58台、ジャンボ車両16台の74台。乗務員数は89名と伺っています。

乗務員の勤務体制は、日勤及び1日おきの隔日勤務が基本となり、各事業者の営業時間内でシフト制により調整と伺っています。

問 以前より運行台数が減っている現状は、タクシーを利用する市民に大きな影響があると考えられます。こうした実情を踏まえ、今後市としてどう取り組んでいくのか、所見を伺います。

答 本市においては、エコパスが運行していない地域において、目的地を定め乗り合い

タクシーを運行しておりますが、近年全国的にタクシーを活用した様々な取組が進められています。

そういった事例を参考にしつつ、地域の実情に沿った仕組みについて調査研究が必要と考えています。



恵庭駅西口のタクシー乗り場

問 タクシーは、事故防止のために積極的に免許返納している高齢者の方や飲酒後に帰宅時での利用による飲酒運転防止や飲食店の客離れ防止に繋がります。行政での対応として、どのような事が想定されるのか伺います。

答 事業者への経営支援は、既に国や北海道で資金繰り支援、雇用確保といった支援策がメニュー化されていることから、市独自の支援は考えておりません。

引き続き国や北海道の支援メニューの周知に努めて参りたいと考えています。

◆その他の質問項目  
・まちの賑わい創出とイベントの重要性について、島松駅周辺の開発について



恵庭市中小企業振興基本計画、恵庭市農業振興計画及び恵庭市観光振興計画について

問 現在、年間30件から40件の企業立地の引き合いがあると聞いています。さらには北海道の次世代半導体プロジェクトなど、恵庭市の中小企業に影響を与える外的な要因が発生していると認識しています。多くの企業を誘致し、就職先の選択肢を増やすことが必要であると考えますが、前提となる今後の恵庭市の工業団地整備の考え方について伺います。

答 市内における工業用地の不足に対応し、戦略的かつ実効性のある企業誘致活動を実施していくために、新たな工業団地の整備検討に向けた情報の収集分析を行うため、全国の対象企業に対する立地動向調査を行うことにしています。

今後については、その結果を踏まえて市の方針を定める参りたいと思います。

問 盤尻地区の観光を推進していただきたいと考えています。盤尻地区を含めた今後の恵庭市全体の観光誘客の考えについて伺います。



白扇の滝

答 花の拠点はなふるは、道と川の駅、農畜産物直売所かなの他、飲食やホテル等充実した施設整備が完了し、更には七つのガーデンを備えた公園内では、一年を通して様々なイベントが開催され、市内外から多くの来場者が訪れる恵庭市の観光の拠点として賑わいをもたらしています。

昨年度より恵庭市の持つ自然や観光資源を広げ誘客を図るため、盤尻地区のまちづくり懇談会を設置し、盤尻地区の観光に対する提言をいただいております。

今後については、花の拠点はなふるを中心に、盤尻地区や恵庭市内の飲食店など市内の周遊の仕掛けづくりを進め、花のまちづくりとしての観光誘客に取り組んで参りたいと思います。

◆その他の質問項目  
・都市計画道路について



自由民主党 議員 石井 季美

### 芸術文化への市民の意識向上について

**問** 本市では、多くの文化芸術事業が行われていますが、表現者と鑑賞者を繋げる工夫について、どう考えているか伺います。

**答** 文化芸術事業の周知方法は、主催者により様々ですが、文化情報を集約した方が分かりやすいとの意見があったことから、今年度募集した夢創館の指定管理者の仕様書に、文化芸術事業の周知業務を追加しました。概要として、文化芸術に関する市内の情報収集し、HPやSNS、デジタルサイネージ等の媒体を通じ、広く発信することを明記したところです。

**問** 文化芸術事業の周知に向け、事業のチラシやポスターを置いてある場所のリスト等が、見やすくとまったらものがあれば便利だと考えますが、所見を伺います。

**答** 文化芸術に関する事業を周知する場所について、現在明確に示していませんので、今後、チラシやポスターが設置できる場所の取りまとめを行い、



市民から寄贈されたストリートピアノ

事業を実施する方に周知して行きたいと考えています。

**問** 文化芸術のまちづくりに向けて、文化の拠点施設は、情報を入れる、また発信することが、大切になると思います。本市の情報の拠点は図書館ではないかと考えており、今後改修されるということですが、そういった視点を盛り込むことができるのか伺います。

**答** 改修予定の図書館は、文化の拠点施設としても重要な施設と捉えており、改修基本構想への反映は、ボランティア交流会や市民懇談会、アンケートを実施し、市民意見の把握を行っており、また、施設の要望として、個人ブースの増設、静かに読書を楽しめる空間、グループ学習等賑やかにして良い空間の区分けなどが求められています。

今後、先進地の状況や来年度の計画しているシンポジウムの内容を踏まえ、本館の耐用年数を見計らいながら、10年20年後を見据えた図書館の在り方について、検討して参ります。

### ◆その他の質問項目

・夏の熱中症対策について



自由民主党 議員 吉永 孝之

### 生活困窮者の支援について

**問** 構造的な景気低迷が続く中、社会的孤立のリスクが拡大し、貧困の世代間連鎖といった課題も深刻化しています。生活困窮者自立支援制度の目指す目標として、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」の2つが柱となりますが、本市の生活困窮者支援の現状について伺います。

**答** 生活支援相談窓口を設置し、生活に困窮されている方が抱える失業、家賃滞納、電気・ガス代等の滞納など、生活の困りごとの相談を受け、就労支援や生活福祉資金の貸付、住居確保給付金の相談を行うなど、相談者のニーズにあった支援を行っています。

**問** 本市における生活困窮者の自立支援の概要と課題について伺います。

**答** 生活困窮者自立支援制度の必須事業である自立相談支

援事業及び住居確保給付金を実施していますが、任意事業の就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計事業の把握による家計改善支援事業、また生活困窮者の子供の学習生活支援事業について現在未実施であるということが課題であると認識します。



相談窓口 (イメージイラスト)

**問** 本市の生活困窮者自立支援の今後の対策と進め方について伺います。

**答** 生活困窮者のニーズなどを踏まえ、次年度以降の実施に向けて検討を進めて参りたいと考えています。

今後もしも細かな相談対応と支援を行うとともに、必要な方に制度を利用していただけるよう努めて参ります。

### ◆その他の質問項目

・人員確保計画について、森林政策について



自由民主党 議員 宮 利徳

### ふるさと納税を活用した政策的事業の推進について

**問** ふるさと納税による基金の積立が7基金30億円程度あります。その中で、市長におまかせという形で寄付され、広く本市のまちづくりの推進に活用する、まちづくり推進基金が設置されています。その基金の残高について伺います。

**答** 令和4年度末の残高ですが、約17億9400万円になっています。

**問** 令和5年度当初予算のまちづくり推進基金の活用状況について伺います。

**答** 令和5年度の基金積立額を、ふるさと納税事業費と同額の約14億5700万円と見込んでいます。

本年度は、公用スマホの導入、花のまちづくり推進事業、道路公園の生活環境改善要望対策事業等、65の事業への活用を予定しており、総額は約22億6000万円になっています。

その様な中、ふるさと納税の寄付金がこれまでのように増加していった場合、活用しきれず、基金に積み上げるだけという事にならないよう、この基金を財源の一つと認識し、本市の必要な政策的事業に当て事業の提案、実施をしていただきたいと考えています、所見を伺います。



ふるさと納税 返礼品 (イメージイラスト)

**答** 財政運営の基本指針では、政策的事業の充当財源として基金の活用を掲げるほか、恵庭市基金条例施行規則で各基金の処分事由を定めています。これが、基金活用の方針で、その範囲内で積極的に活用することで、本市のまちづくりの推進に繋がっています。

今後、ふるさと納税をPRし、庁内、議会と議論を踏まえ、政策的事業の財源として有効に活用し総合計画の5つの基本目標に沿った事業を展開し、目指すべきまちの姿を実現するよう進めていきます。

### ◆その他の質問項目

・恵庭市住生活基本計画における住宅施策について、ゼロカーボンシティ達成に向けた取り組みについて





諸派 矢卓 議員  
小林 諸派



自衛隊への名簿提供について

**問** 本市では、18歳及び22歳を迎える人の個人情報について、これまでに何人の名簿を提供してきたのか伺います。

**答** 令和4年度から提供を開始し、令和4年度は18歳が671名、22歳が659名、合計で1330名で、令和5年度は18歳が634名、22歳が724名の合計1358名となっております。

**問** 名簿提供の除外申請を受け付けていない自治体があると聞いています。

**答** 本市は、名簿除外申請を受け付けているのか伺います。

**問** ホームページで、この情報を探するため、ネット検索を試みたが、発見するの時間がかかりました。

**答** ホームページで、この情報を探すため、ネット検索を試みたが、発見するの時間がかかりました。この個人情報の提供や除外

申請については、ホームページに記載しているという事ですが、その他の方法で、市民に通知しているのか伺います。また対象者に対して、了承を得ているのかについても改めて伺います。



名簿 (イメージイラスト)

**問** 名簿提供については、法令に基づく報告の要求に対して提供しているため、本人の了承は必要としていません。

**答** 名簿提供については、法令に基づく報告の要求に対して提供しているため、本人の了承は必要としておりません。今回は、自衛隊法に基づく報告の要求ですが、これ以外にも数多くの法律に基づき報告を求める権限を与えられた方からの請求により住民基本台帳の記載情報の報告を行っており、これらは全て、本人の了承が必要としておりません。除外申請のホームページへの掲載は、どの生年月日に該当する人の情報を提供するかについて、周知しており、ホームページ以外では行っていません。

◆その他の質問項目

・高齢者の生活支援について、市内の小中学校への熱中症対策について



諸派 保実 議員  
太田 諸派



災害時の休校判断基準と連絡システムについて

**問** 休校に関しては、各校長が決定するのが基本とのことですが、災害時は教育委員会の指示により決めている印象があります。今年8月の猛暑のように災害等の状況によっては、全ての小・中学校で、足並みを揃えていく必要があると思いますが、所見を伺います。

**答** 学校管理規則に則っており、各校長において判断することになりますので、必ずしも市教委の指示がなければなりません。ということではありませ

**問** 地震や大雪、コロナ、酷暑、その他の災害が起こった際の休校判断の基準やガイドライン、そういったマニュアルを市として整備されているか伺います。

**答** 各学校においては、地震を初めとした天災や、感染症対策、気象状況に応じた対応を初め、食中毒や食物アレルギー、いじめや問題行動に対

する対処方法など、危機管理に関するマニュアルを整備しています。



避難場所を家族で確認 (イメージイラスト)

**問** 連絡ツールについて、小学校の時はメールで、中学校になったらアプリでということ、小学校と中学校にお子さんがある方は、メールとアプリという違うツールで連絡が来るといったことになっていきます。同じ市内で同じツール、統一したものを使用することはできないか伺います。

**答** 各学校から保護者宛への連絡については、各校長判断により行われており、統一した手段での連絡は難しいと考えていますが、効率的かつ迅速な連絡手段の手法について、各学校で情報共有して参りたいと考えております。

◆その他の質問項目

・小中学校のエアコン設置について

『恵庭市議会ハラスメント防止に向けた研修会』を開催しました

令和5年8月31日(木)、北海道労働局雇用環境・均等部長 石山玲子氏を講師としてお迎えし、恵庭市議会議員を対象とした『恵庭市議会ハラスメント防止に向けた研修会』が開催されました。

研修会では、【職場におけるハラスメント防止について】をテーマに、それぞれの議員が、研さんを深めるとともに、その後の質疑応答では、講師と活発な意見交換が行われました。

なお、この研修会について、議長より各議員に対して、研修を終えての所見の提出が義務付けられました。提出された主な内容としては、

- 「日頃から人とのコミュニケーションをとっていくことの重要性を再確認した。」
- 「ハラスメント問題に関心と理解を深め、相手の立場に立ち相手への感謝の気持ちをもって言動する。人としての敬愛をもって接することを心がけ、言動行動する事に努める。」
- 「コミュニケーションの強化と相談できる雰囲気醸成が重要。」
- 「パワーハラスメントの十分な理解・関心を深め、人に対する言動に必要な注意を払わなければならないと理解しました。」
- 「研修会を定期的で開催し、その意識を持続させること。また、様々な人間関係の中で、各人がコミュニケーション力を高めること。相談窓口の設置など、相談体制を構築すること等が重要である。」
- 「議会として策定する行動指針に今回の研修を踏まえた内容を盛り込んでいきたい。」
- 「自分自身の言動を見つめ直すことの大切さを学んだ。」
- 「この研修を他人事とはせず、自分が加害者にならないよう行動し、被害者になったとき、またそのような行為を第三者として発見したときは、然るべき行動を取らなければいけないと痛感した。」





自由民主党  
翡翠会

前田 孝雄  
委員



## 恵庭駅周辺のまちづくりについて

**問** 賑わいづくりのために、地域住民のコミュニティの場など、元氣が出る場所が必要です。旧まなび館一帯の活用は、今後の賑わいづくりの創出の試金石と考えます。今後の整備の方向性について伺います。

**答** 旧まなび館は、市から建物を借り受けた恵庭駅通商店街振興組合において、商店街の活性化や地域の賑わい創出に繋がる事業の継続実施に向け試行的な事業の実施及び事業計画の策定が行われており、かかる事業計画策定後に事業計画や施設の老朽化の現状等に基づき、令和6年度以降の施設の利活用や事業の進め方について、組合と市で協議を進めることとしています。

**問** 「恵庭産のビール等による乾杯を推進する条例」推進のため、旧まなび館や駐車場、飲食店、漁川周辺を活用しビアガーデンや屋台村を設置し、サッポロビール等で乾杯に繋げその後に栄恵町飲食店を利用いただくなど、街を元気にす



旧まなび館

る仕掛けづくりをしてはいかかが所見を伺います。

**答** 本条例の市の役割として、事業者と協力し恵庭産のビール等による乾杯を推進する取組に必要な措置に努めるとされており、その一環として事業者の取組にどのような協力ができるか調査研究して参りたいと考えています。

**問** 千歳市ラピダス工場から交通の利便性の良いエリアは、恵庭駅前の1キロ周辺と認識しており、2027年のラピダス開業に向け恵庭の顔となる高級マンションの建設構想を検討する考えはないのか所見を伺います。

**答** 先進地の熊本県でも、工場従業員や関係人口の増加に伴い、多様なニーズに対応したマンションや一戸建てなどの民間開発が活発に行われていると聞いています。同様の状況は、本市でも今後起り得る訳ですが、その際には土地利用方針に沿った適切な対応を行って参りたいと考えています。

## 花の拠点「はなふる」を維持運営するための施策について

**問** コロナ感染症の5類移行により、道と川の駅の入場者数が徐々に回復していると聞いておりますが、特に土日やイベント開催時の駐車場に問題が生じています。

駐車場に入れず引き返す来場者も見かけますが、センターハウス側の駐車場の有効活用及び臨時駐車場の確保について伺います。

**答** 道と川の駅の駐車場は、休日やイベント開催時に、駐車スペースを探索車両により車列渋滞が見受けられ、運転者からはふるの駐車場を認識していないことが理由の一つとも考えており、渋滞の緩和対策として、はなふるセンターハウス側駐車場へ誘導する看板等の設置を検討して参ります。また、多くの来場者が見込まれるイベントでは、道と川の駅に仮設誘導看板の設置、警備員の配置が必要であると考えており、併せて中島公園グラウンドを臨時駐車場とすることが有効と考えています。

近の芝生広場などを利用し仮設テールの設置等による飲食スペースの確保を検討して参ります。

**問** 花と緑の記念日7月13日の制定は、花のまち恵庭として大変意義深く、市民と意識をともにするため、記念日が定着するような継続的なイベントを開催し、花のまち恵庭をさらに充実したものと進めることが重要と考えますが、所見を伺います。

**答** ガーデンフェスタ終了後の検討懇談会の提言に基づき、市民参加による植栽やステージイベント、ワークショップなどのプログラムを取り入れた花とくらし展を継続して実施して参りたいと考えています。

本市の花のまちづくりの歴史を紹介したパネル展示、小学生のふるさと教育の実施、市内事業者の協力で花を贈るフラワーギフトキャンペーンの継続等、各種事業を積極的に展開し、記念日の定着を図って参ります。

### ◆その他の質問項目

・令和4年度決算の総括について、財政運営について、各種基金・ふるさと納税について、行財政改革について、中小企業、小規模事業者への経済対策について、防犯灯・防犯カメラの設置について、スポーツ振興について、資源回収の推進について、文化芸術の推進について





公明党議員団

松島 緑  
委員



## 妊産婦健康診査通院支援事業について

**問** 妊産婦健康診査通院支援事業対象者に対して、申請済が69・6%でした。課題としては、周知が今後重要であるということですが、今現在どういった形で周知をされているのか伺います。

**答** 妊産婦健康診査通院支援事業の周知方法ですが、現在においては、母子健康手帳交付時にリーフレットをお渡ししながら事業説明をしています。

また出産後においては、乳幼児家庭への全戸訪問の機会や、3、4か月健診の際に申請状況を確認し、申請期限となる出産後6か月までに申請していただくように、周知しているところです。

**問** 産後、子育てをしているお母さん達は大変忙しく、実家などに帰省したりと移動している事もあり、自宅にいない方も多いと推測されます。

若い世代には、紙媒体よりも、SNSを活用した方が良いのではないかと思えます。



解体が始められた市営住宅柏陽団地

## 市営住宅柏陽・恵央団地建替事業について

**問** 市営住宅柏陽・恵央団地建替事業について伺います。

**答** 令和元年5月に「市営住宅柏陽・恵央団地建替基本計画」を策定し、令和4年度には、移転対象者の減少や市営住宅の事業手法に変更があったことから、建替住宅の整備戸数、入居者の移転先の想定、スケジュール等を見直した計画の改定を行い、本計画に基づき、恵央団地6号棟の建設や、恵央団地PFI建替事業者選定作業を取り進めてきました。

事業の課題として、一般的にPFI事業は、事業者公募や民間事業者による施設の設計・建設、維持管理、余剰地活用などの多岐に渡る事業を、民間活力を活用し、一体的かつ長期にわたり行う事業となり、市としては、適切な事業の実施と管理などが課題となります。本事業は、本年5月に公募を実施し、既に複数の事業者より提案を受けており、ほぼ当初予定通り、事業者選定作業が進んでいます。

今後の見通しですが、本年11月に事業者の決定、令和6年2月に事業契約締結を予定し、その後は、民間事業者が事業に着手し、令和7年末に建替住宅の完成を予定しています。

**問** 柏陽団地第1優先区域の全世帯が移転、解体工事の準備が進んでいます。

ますが、いつまでに解体し、コミュニケーションの整備は、いつ頃完成するのか伺います。

**答** 地域コミュニティゾーンの今後の見通しについて、今年度は、公民複合機能の施設整備手法の整理の他、かしわぎ公園の移設の方針を含めた基本構想を定める予定です。来年度以降も、引き続き、建替基本計画に基づいた公民複合機能施設等の整備に向けて事業を推進して参りたいと考えています。

解体のスケジュールは、柏陽団地の第1優先区域を、2工区に分けており、既に解体業者が決定しています。工事は、来年の1月9日までの工期となっています。第2優先区域は、第1優先区域の解体が終わってからとなり、令和6年度の解体を予定しています。

### ◆その他の質問項目

・「令和4年度予算」の総括について、決算状況及び今後の財政見通しについて、事務事業の効率化と行政体制の構築について、生活改善要望事業について、新型コロナウイルス感染症対策事業について、ガーデンフェスタ北海道2022について、地域公共交通について、上下水道事業について、地域で育む子育て環境について



市民と歩む会

新岡知恵  
委員



## 健康づくりの環境整備について

**問** 市は現在、8か所ある市民プールのうち、3か所の統廃合を検討しています。また駒場体育館が令和5年度から廃止されました。運動施設の統合・廃止に際しては、市民との合意形成が重要であり、統合・廃止後も市民の運動機会が確保されなければならないと考えます。

**答** 市民プールについては、千歳市民プールを本年4月より千歳市民と同一料金にて利用開始し、また、休止した市民プール利用者へ、夏休み期間中に開設しているプールへのバス移動支援を実施しました。

駒場体育館については、利用者説明会を開催し、廃止に至る経緯や代替施設のご案内等を行い、学校開放等すべての団体が代替施設を利用いただいております。

**問** 休止中の市民プールの今後の方向性については、結論は出ていませんが、子



解体された旧駒場体育館

どもの水泳機会に大きな影響を与えます。定例の教育委員会や学力・体力推進会議で議論する予定があるのか伺います。

**答** プールの統廃合は、プール授業に影響することから、恵庭市学力・体力向上推進会議でご意見を伺いながら、また教育委員会や校長会議などでの議論を経た上で、丁寧に検討していきたいと考えています。

**問** 総合体育館は個人利用優先ですが、駒場体育館を利用していただいた団体の受け皿として、利用の工夫が必要です。対応について伺います。

**答** 総合体育館第2体育室の団体利用について、事前予約や貸切はできませんが、指定管理者にご相談いただいた際に、すいている時間帯の情報提供など、できるだけ利用頂けるように、伝えたいと考えています。

## 財政について

**問** ここ3か年で道路と公園整備に積極的にまちづくり推進基金を活用しています。今後も特定の事業に対して、積極的に活用していくのか確認します。

**答** 事業を特定するのではなく、毎年の政策予算の判断の中で、重要な財源として活用する方針です。

**問** 公共施設へのエアコン設置が重要な課題になっています。一方、光熱費の高騰により、公共施設維持管理費は上昇し、それが経常経費に跳ね返っています。今後の施設整備に当たっては、光熱費といった経常費抑制の視点が重要です。

エアコン設置をする際、光熱費を抑制するため建物自体の断熱効果を高めるような措置をするなど、そこに基金を充当するべきと思いますが所見を伺います。

なく、基金という限りある財源を、有効に活用していくという視点で予算を執行しています。

**問** 昨年はゼロカーボンシティ宣言をし、今年度からはゼロカーボン推進室が設置されて、環境負荷低減に全市を挙げて取り組んでいます。温暖化対策の一環としても重要な取組と考えます。所見を伺います。

**答** 現在は、電灯のLED化が将来負担を低減させる取組であり、積極的に進めていますし、電気自動車への転換も進めています。

公共施設の断熱を優先することにについては、有効であった、さらにコストに見合うものであれば考えていく価値はあると考えております。

様々な取組を通じて本市として、ゼロカーボンの推進に貢献していきたいと考えています。

### ◆その他の質問項目

・教育環境の整備について、市民協働の在り方について、ごみ処理体制の検討について、地域公共交通の見直しについて、ハラスメント対策について、借上げ公営住宅の活用による住まいの確保について、水道事業について





民主・春風の会

澁谷敏明  
委員



## 生活環境改善要望対策事業（道路・公園）の成果と今後の考え方について

**問** 生活環境改善要望対策事業（道路・公園）の成果と今後の考え方について伺います。

**答** 生活環境改善要望については、地域から道路や公園の管理に関し多くの要望等が寄せられているところであり、できる限りそれぞれ課題解決を図っており、令和4年度からは、生活環境改善要望対策事業として、別枠で予算を確保し、令和6年度までの3か年の予定で集中的に補修などを進めており、令和元年度から令和4年度までに寄せられた要望550件のうち、個人が対応すべきものや、物理的に対応が不可能なもの36件を除き、319件に対応したところです。

今後の考え方については、定期点検や日常点検で把握している施設の劣化状況等から、危険度をはじめ、バス路線や通学路など道路の特性や交通量のほか、他



ふるさと公園のLED照明

事業との連携による効果の大きさや要望の件数、ニーズの大きさ等、優先度や緊急性を評価した補修計画に基づき、計画的に補修を実施していきます。

**問** 生活環境改善要望は、毎年多くの要望が寄せられているとのことですが、令和5年度の要望件数と対応予定件数、対応できていない件数について伺います。

**答** 令和5年度の要望件数と対応件数等ですが、道路や公園に関する要望件数については、125件、対応の予定件数は、過年度の意見要望も含めて116件となっております。

対応できていない件数につきまして、過年度の意見や要望も合わせて192件となっております。

## 公園照明灯LED化事業の成果と今後について

**問** 公園照明灯LED化事業の成果と今後の考え方について伺います。

**答** 公園照明灯のLED化事業の成果については、リース契約を活用することにより、全ての公園照明灯のLED化を短期間で実施する場合と比べて、財政負担が平準化されることに加え、消費電力を急激に低減することが可能となり、早期の温室効果ガス排出量の低減に寄与しております。また、製造、輸出入の禁止に伴い調達が困難である水銀灯をLED化することにより、今後も安定した維持管理が可能となります。

今後の考え方については、公園照明灯の灯具は更新されましたが、灯具を支える照明柱、電力引込柱や配電盤等の老朽化が進んでいることから、引き続き計画的な更新に取り組んで参りたいと考えています。

**問** LED化により電気使用量や温室効果ガス排出量を低減することが可能とのことですが、具体的にどれくらいの効果があるのか伺います。

**答** 使用量の削減効果については、公園照明灯全てをLED灯具により

運用が開始しました令和5年1月から7月までの7か月の電気使用量を前年同期と比較すると、約360万円の減となっており、1年間にすると約600万円の削減を見込んでいます。

温室効果ガスの排出量は、公園照明灯等の公園施設の電気契約は、電気使用量を計測せずに、定額が多いので、あくまでも各器具の更新前後の定格出力等をもとにした試算ですが、年間では約100t程度の温室効果ガスの排出量の削減を見込んでいます。

**問** 更新が必要な照明柱と公園施設の今後の更新見込を伺います。

**答** 令和5年度は、照明柱41基、引込柱6基の更新を予定しています。

令和6年度以降も施設の損傷度等から優先度評価した補修計画に基づき、計画的な更新を実施して参りたいと考えております。

### ◆その他の質問項目

・令和4年度予算「重点施策5本の柱」について、「財政運営の基本指針」に基づいた財政運営について